☆熱性けいれんを起したことのあるお子さんへの対応☆

保育園で解熱剤等の坐薬を預かることは、基本的にできません。しかし、熱性けいれんを予防する坐薬に限っては、お預かりすることが可能です。保育園での保管を希望される場合は、下記の「ダイアップ坐薬預かり依頼書」に必要事項を記入の上、職員に手渡ししてください。その際には、けいれん時やその前後の様子をお聞かせください。なお、抗けいれん坐薬は１本ずつの預かりになります。

また、熱性けいれんを起こしたことがあるお子さんについては、元気があり、機嫌が良くても体温 37.5℃以上ある場合、保護者の方にご連絡させていただきます。、あた、解熱後も 24 時間は、自宅で様子を見ていただきたいと思います。

《ダイアップ坐薬挿入までの流れ》

① 検温にて、医師から坐薬の挿入を指示されている体温がみられた。

↓

② 保護者に状態を連絡、指示を受けてダイアップ坐薬の挿入有無を確認する。

↓

③ 迎えまでの間、医務室で水分を摂りながら、安静にして迎えを待つ。

↓

④ 降園　※坐薬を挿入した時間を記載した用紙を渡しますので、２本目以降の坐薬を挿入する際の参考にしてください。

---------- 切　り　取　り ----------

ダイアップ坐薬預かり依頼書

大日にこにこ保育園

園児名：
年齢：　　歳　　ヶ月(　　組)

発熱に伴ない痙攣を起す可能性があるため(　　)病院よりダイアップ坐薬が処方されています。緊急時に備え、保育園用にダイアップ坐薬の保管をお願いします。
また(　　℃)になりましたら(TEL　　)に連絡し、保護者の指示でダイアップ坐薬の挿入を保育園職員に依頼します。

年　　月　　日

保護者氏名：　　印

※お預かりするダイアップ坐薬について

処方日：　　年　　月　　日
医者からの挿入指示量：
その他注意事項：